

教育目標：自立 敬愛 精励

用賀中だより

ようがの学び舎 舎訓 責任 信頼 誇り
～生徒が主人公である学校、地域と共に歩む学校～

学校だより 10月号
令和6年10月吉日
ようがの学び舎
世田谷区立用賀中学校
校長 毛利 慎治

体験学習を通じて学びの深まりを実感

校長 毛利 慎治

用賀中学校では、生徒たちの主体的な学びを促進するため、体験的な学習活動を積極的に取り入れています。9月に実施された「乳幼児ふれあい体験」や「職場体験」は、その象徴的な取り組みです。これらの活動を通じて、生徒たちは実際の経験から学び、その学びを次へとつなげていく力を養います。また、心が動くような体験を通して、自ら進んで学ぶ意欲が高まることが期待されています。私は常々「特別活動(行事や部活等)が生徒の主体性を大きく伸ばす」と考えており、これらの体験がまさにその好例です。

● 乳幼児ふれあい体験での感動 ●

9月初旬に実施された「乳幼児ふれあい体験」では、NPO 法人子育て支援グループ amigo のご協力のもと、生徒たちは赤ちゃんと実際に触れ合う貴重な機会を得ました。赤ちゃんを初めて抱っこした生徒たちは、驚きと感動で目を輝かせました。「こんなに小さな命が自分の腕の中にいるんだ」と感じながら、緊張しつつも優しく赤ちゃんを抱く姿が印象的でした。また、赤ちゃんの親御さんから育児の苦労や喜びについて話を聞いた際、生徒たちは「自分も赤ちゃんの頃はこうやってお世話されていたんだ」と気づき、家族への感謝の気持ちが自然と湧き上がったと言います。特に、赤ちゃんが笑った瞬間や、泣いている赤ちゃんをあやす場面では、生徒たちの表情もワクワクとドキドキが入り混じったように見えました。このような体験を通じて、命の尊さや他者への思いやりを深く学ぶことができました。

○ 生徒のコメント ○

- ふれあい体験を経て、自分もこのような時期があったと思えないぐらいに癒されました。自分の指を握らせてみるとギュッと握ってくれて、自分の口へ運び僕の指を食べようとしていました。今となっては考えられませんが、今自分のお父さんお母さんは僕たちの事が好きと言っていて、今日親目線で触れ合った結果、その気持ちがとてもわかりました。これからは自分の親を大切に、自分が親になったら、子どもがどれほど大切なものかを考えながら、今自分が育ててもらっていることにありがとうという気持ちを感じながら一緒に過ごしたいです
- 赤ちゃんの笑顔を見ると周囲の人も思わず笑顔になってしまって、不思議な力を感じました。生後二ヶ月の赤ちゃんを生後七ヶ月の赤ちゃんを抱っこしましたが、年齢の差がないのに体の大きさや筋肉の発達度が全然違うことに気づきました。今にも壊れてしまいそうな小さな命を守っていきたいと思いました。そのためにも、町で困っている人を見つけたら積極的に声をかけたいと感じました。自分たちもこんな時期があったということの思い、何だか自分が愛おしく感じました。赤ちゃんを見るとなぜか胸がときどきしました。家に帰ったらお父さんお母さんにハグしたいと思います。

● 職場体験の学びから得たもの ●

9月25日から27日にかけて行われた「職場体験」では、用賀中学校近隣の約50カ所の事業所にご協力いただき、生徒たちは実際の職場での活動を体験しました。事前に職場を訪問し、挨拶をするなど準備をしっかりと行ったことで、当日は緊張しつつもワクワクとした気持ちで体験に臨むことができました。

実際に働く人々の姿を間近で見たり、仕事内容を体験したりする中で、生徒たちは「働くこと」の意義や難しさを実感しました。「自分もいつか、こんな風に働くのかな」という期待や、「この仕事は想像以上に大変だ」という驚きが交錯しながらも、一生懸命取り組む姿が見られました。仕事を終えた後の達成感や、職場の方々から「よく頑張ったね」と声をかけてもらった瞬間、生徒たちは自信を持ち、自分の将来に対する夢や希望が少しずつ具体的に広がっていったように感じました。

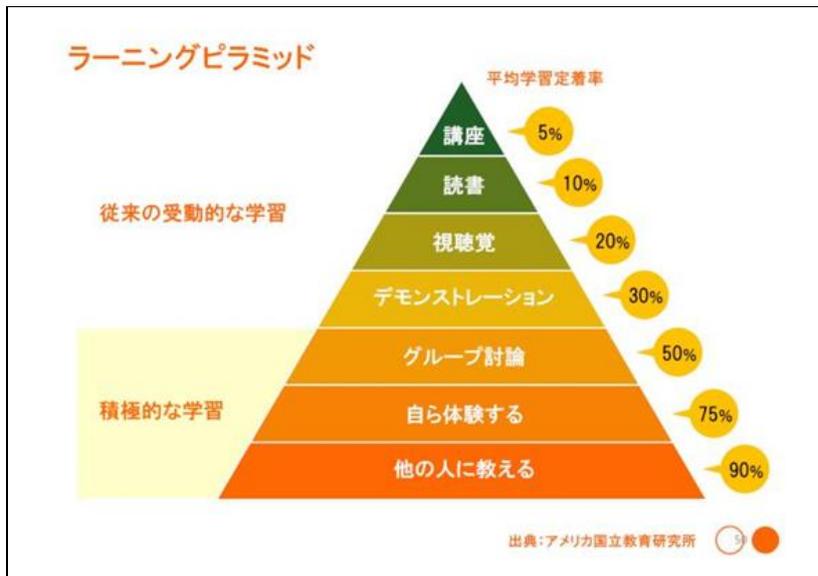
○ 事業所様からのコメント ○

○慣れない環境で緊張しながら三日間頑張って業務に取り組んでいました。言葉をよく選びながら丁寧に受け答えできており、姿勢に関しても自ら正している姿が印象的でした。

○どんなことも精いっぱいに取り組んでいました。素晴らしかったです。我々が考えさせられるぐらい、様々なアイデアを出してくれて、互いに有意義に時間を過ごすことができました。周りの人のために行動できるようになりましようと思えました。

○とても楽しそうにお客様とコミュニケーションを取っていました。意欲的に課題にも取り組んでいて、企業理念もよく理解してくれました。礼儀正しく、お客様も喜んでくださいました。生徒の発言であらためて気がつくことも多く、私達にとっても学びがある三日間でした。

● 学びの定着と「ラーニング・ピラミッド」体験を通じた成長 ●



「ラーニング・ピラミッド」によると、講義形式の学習は学習内容の定着率がわずか 5%とされています。これは、講義だけでは学びが受動的になり、定着が難しいためです。一方で、主体的・積極的な学習を行うことで、学びは深まり、学習内容の定着率は飛躍的に向上します。例えば、体験的な学習は 75%の定着率が見込まれています。さらに、他者に教えたり、学んだことを振り返り共有したりすることで、定着度は 90%にまで高まるとされています。通常時の授業でもグループ討議、振り返り、ペアでの教えあいなどの授業を取り入れているのは生徒の皆さんの学習定着度を高めようと先生たちが工夫をしているのです。

特に今回のような体験学習では、生徒たちは実際に体験することで、学びが深く定着しました。体験後にその内容を振り返り、グループ内で教え合うことにより、学びがさらに深まったのです。このように、振り返りや報告活動を通じて、生徒たちは学びの内容を整理し、自己肯定感の向上にもつながっています。体験を通じて得た気づきを仲間と共有することで、さらに自分の学びを確かなものとして定着させることができました。

10月19日には合唱コンクールが予定されています。合唱コンクールは、グループでの協働を重視した活動であり、生徒たちは互いに教え合い、励まし合いながら一つの目標に向かって取り組みます。このような活動も、体験学習と同様に、主体的な学びを促進し、生徒たちの成長を支える大切な機会です。私は常に「特別活動が生徒の主体性を大きく伸ばす」と考えており、これらの体験を通じて生徒たちが学んだことを次にどう活かすかを考える力を養い、学びを深めていけると確信しています。

今回の体験学習を通じて、生徒たちはただ知識を得るだけでなく、心が動く経験を積み重ねました。乳幼児ふれあい体験や職場体験では、ワクワクとした好奇心や緊張感、達成感を感じながら学び、命や働くことの意味を深く考える機会となりました。これらの体験が、生徒たちの未来にどうつながっていくのか楽しみです。

今後も用賀中学校での体験的な学習活動を通じて、生徒たちが自ら学び、成長していく機会を大切にしていきます。

9月のおはこみは、学び舎小学校へも行きました！

9月5日(木)、6日(金)で、今年度2回目のおはようコミュニケーション(おはこみ)を行いました。7月に行った「学び舎生徒会」で話し合い、中学生が数年ぶりに小学校へ行ってのあいさつ活動でした。生徒からの振り返りを紹介します。



●私は第一学年代表委員として、用賀中でおはこみを行いました。以前おはこみをした時は、挨拶だけをしていたのですが、今回は挨拶に加え、励ましの言葉や、コミュニケーションに繋がるような言葉を付け足しました。このことにより、笑顔で挨拶を返してくださる人や、私たちよりも早くに挨拶をしてくださる人もいました。これからはおはこみに限らず、挨拶をしていき、学校生活をより華やかにしていきたいです。

●用賀には「あいさつ」という挨拶の心得があります。「あかるく」「いつでも」「さきに」「つづけて」。これらの言葉の頭文字をとると「あいさつ」になります。これは用賀小ではどのクラスの教室にも掲示されている合言葉です。

去年、私は用賀小で、運営代表委員会に所属をしていました。そして、先生から二学期からは用賀の学び舎3校合同のおはこみが復活するかもしれないと言われ、復活するのを楽しみにしていました。しかし、それは実現されず、用賀小だけのおはこみでした。そして、今回3校合同のおはこみが約6年ぶりに行われ、やっとコロナの前のように活動する事が出来るようになったんだとあらためて実感しました。また、6年前の様な活気がやっと戻ってきて、安心すると共にこれからも続くと良いなと思いました。そしてとても良い経験をする事が出来ました。3校合同のおはこみを実現して下さった先生方に心より感謝申し上げます。これからも宜しくお願いします！

生徒会選挙を行いました。

9月13日(金)の6時間目、生徒会選挙を行いました。立候補した生徒から、またその応援演説からは、「発想力」「視点のよさ」「実行力」「受容力」など、非常にポジティブな非認知能力をもっていることが多く伺えました。演説の一部や、選挙にまつわるふりかえりを紹介します。



●この度、生徒会に立候補させていただきました。今回、私が立候補した理由は二つあります。

一つ目は、より過ごしやすい学校を目指し、生徒の皆さんの意見を積極的に取り入れたいからです。生徒の皆さんの意見に耳を傾けることで、学校全体の改善点を見つける事ができるので、その為に、目安箱やロイロノートのアンケートなどを活用し生徒の皆さんの意見を取り入れていきたいと思えます。

二つ目は、前期代表委員など様々な場面で活動してきた、その今までの経験を生徒会の活動に生かし、自分の成長にも繋げられるのではないかと考えたためです。

私が生徒会員になった暁には、より「過ごしやすい学校」を目指し、活動していきたいと思えます。また、これまでの先輩方の努力と活動を受け継ぎ、さらに用賀中学校に生徒一人ひとりが、行きたいと思える学校にしていきたいです。そして、行事のときは、皆さんが中学校で楽しめたという思い出の1ページを作れるように頑張ります。この学校には、良いところがたくさんあります。しかし、改善していくべきところもあると思えます。その改善していくべきところを皆さんで変えていきましょう。

何が起きても、自分の役職に誇りと責任をもち、用賀中学校と、何より生徒の皆さんのために、一生懸命に力を注ぎ、精一杯頑張りますので、私に皆さんの大切な1票をよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

●生徒会選挙は、私にとってとても良い経験になりました。いつもは代表委員としてみんなの前に立っているけれど、前に立つ理由が変わるだけで緊張度が全く違うことに驚きを感じました。さらに、応援演説者として「相手のためになんとしてでも成功させなければ」という責任感を感じたことも影響していると思えます。今後またこのようにして発言する場があれば、もっと笑顔で、印象に残る立ち居振舞いをしたいと思えます。

区陸、選手決定、練習を重ねています。

10月3日(木)には、区陸(世田谷区立中学校陸上競技大会)が行われます。9月中旬に選手が決定し、練習を重ねています。選手の声を紹介します。

●僕は区陸と陸上部をやっている、陸上部では冬季練習が始まりつつあるため、かなりキツイけど自主練もめげずにやっています。自主練では体幹トレーニングやハードルジャンプを仮定した練習、坂ダッシュなどをやっています。区陸では陸上部の大会で出せなかった12秒台を目指して頑張ります。ただしやりすぎてオーバートレーニング症候群に何度かかっているから気をつけます。



合唱コンクールも、練習を重ねています。

10月19日(土)には、合唱コンクールが行われます。指揮者、伴奏者、パートリーダーなどの役割も決定し、学級一丸となって練習を重ねています。代表生徒手描きの「実行委員会だより」を一部、紹介します。

合唱コンクール実行委員会だより

合唱コンクール「みんなの合唱コンクール」に向けて、一人ひとりが全力を出し、最後を最高に終われるように頑張ります。

We will make a nice 合唱コン

2年全員の力を最大限引き上げて、最高の状態で、めざせ全賞、競いあえるように盛り上げます!

僕は合唱コンクールの実行委員として、クラスみんなが自信をもって本番をむかえられるよう工夫して練習したりして楽しめたといえるようなコンクールにしたいです。

私は実行委員、1年代表として、とても楽しく、思い出に残る合唱コンに出れるよう、何事にも全力で取り組んでいきます。約4ヶ月間、クラス全員で力を合わせて、「がんばってよかった!」「楽しかった!」と言ってもらえるようにがんばります。

5年ぶりの全校開催。過去最高に盛り上がる合唱コンにするために、全力で取り組みます! みんなで楽しみながら歌いましょう! 一生懸命は(E)♪

「全力」「最高」「nice」「最大限」「自信」「工夫」「思い出」「盛り上がる」そして「楽しむ」。素敵なパワーワードです!

・・・一生懸命は(E)♪。さて、これ、わかりますか・・・?

10月の主な行事などです。

10/3(木) 区陸上競技大会(代表選手出場 会場:大蔵運動場・陸上競技場)※参観は保護者のみ

10/19(土) 合唱コンクール(会場:体育館)

10/28~31 学校公開

合唱コンクール、学校公開は、地域・ご来賓の皆様もご参観いただけます。こちらでお知らせください→

連絡、感想の入口

